

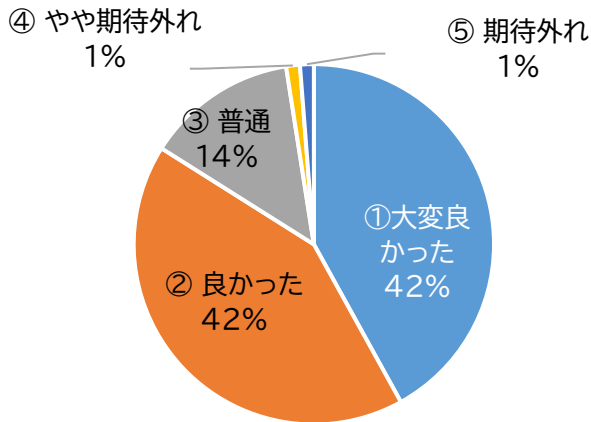


# 第15回 OCHISセミナー アンケート集計

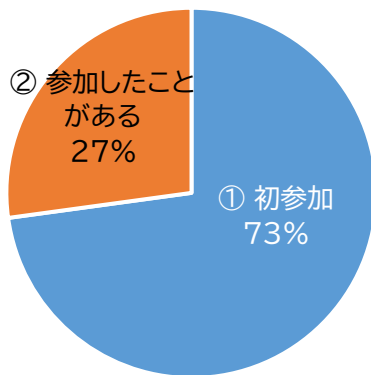
---

2021年11月16日(火)

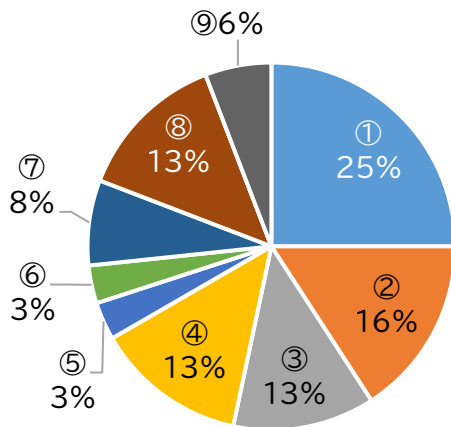
## 全体として今回のセミナーはいかがでしたか



## 今までOCHISセミナーに参加されたことがありましたか

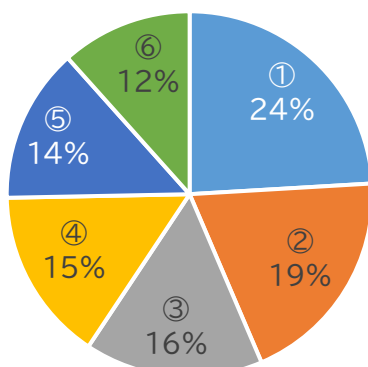


## セミナー参加の主なきっかけ、理由は何ですか（複数回答可）



- ① OCHISのメルマガ、ホームページ等の案内をみて
- ② 所属の協会からの案内をみて
- ③ 開催のメインテーマが気になったから
- ④ 紹介されたから
- ⑤ 上司からの指示があったから
- ⑥ 毎回参加しているから
- ⑦ 参加費が無料だったから
- ⑧ WEB開催だったから
- ⑨ その他

## セミナーをお聞きになって特に参考になったと思ったテーマは何でしたか（複数回答可）



- ① 健康起因事故防止に向けた取組について
- ② 運輸業界の働き方改革の推進とアフターコロナ時代の過労運転の防止対策
- ③ トラックドライバーの健康管理と全ト協の取り組み
- ④ ドライバーの生活習慣の現状と変化 ~運輸ヘルスケアナビシステム®利用者アンケートより~
- ⑤ コロナ禍における事業者様の取り組み
- ⑥ 情報の一元化で事故予兆に挑戦!

# 今回のセミナーの感想や、今後のOCHIS開催セミナーで取り上げてほしいテーマのご希望、質問等がありましたらご記入ください

基調講演 I 運転者の健康状態の把握について、就業上における判断と対処のながれがありますが、②自覚症状等が義務化されてますが、各企業の皆様はどのように対応されているのか、お聞きしたかったです。

理想と現実の難しさを感じた。例えば、交代要員が潤沢な状況では乗務可否判断が出来るが、現状は乗務してもらわないといけない状態。乗合バスは欠車をすれば罰則、観光バスは途中で勝手に運行を止めると依頼主から二度と注文は入ってこない。拘束時間が長く睡眠時間が少ない、でも給料はちゃんと欲しい、でも会社には体力はない。そういうことを現場からは言われる。資金が潤沢にあればシステムや各種検査など色々なことが出来るのでしょうか、そういったことを含めて業界全体の整備が必要かな、と思います。  
ですが、目指すところはもちろん従業員が健康でいることですし、それが無事故にもつながっていくと思います。いただいた情報を基に私たちでも出来ることを少しずつでもやりたいと思います。ありがとうございました。

運輸業界における課題・取組み事例等をお聴きすることができ、貴重な機会になりました。

お世話になりました。楽しかったです。皆さん、お疲れさまでした。

今回は貴重な講習会に参加して大変良かったと思います。ありがとうございました。

パワーハラスメントを取り上げてほしいです。

現在、長距離運転手の運動と食事の管理に困っています。大変難しい課題ですが、そういったテーマが希望です。

新情報を得る事ができました。じっくり内容を確認したいと思います。

運輸業界の2024問題について詳しく取り上げて欲しいかと思います。

初めて参加させていただきましたが、とても有意義な講演内容でした。特に分析されたデータ内容が興味深く役に立ちました。OCHISのセミナーは大阪や東京などでの開催で今まで参加はまならなかったですが、ウェブ開催で遠隔地からも参加出来て良かったです。

運行管理を行ううえで、健康管理の大切さを痛感しました。

- ・健康経営優良法人についての詳細
- ・有所見・疾病を持つ者の医療機関勧奨と、受診通院の確認のためのエビデンス管理など、企業としてどこまで管理すべきかなど。

健康起因事故の悲惨な事例

平田さんと三浦さんの時間が良かった。座席近いけど大丈夫？と思わなくもないが、特に平田さんの受け答えが絶妙だった。今後もこの時間はプログラムに入れてほしい！

この度は大変有意義な講習に参加させて頂き誠にありがとうございました。

SAS対策を進めていく上で、法律との兼ね合い、解釈の問題というのは非常に大切と思います。条文に細かく記載がなくても、この部分に抵触すると言った内容が理解できると、もう少し対策が進むのではないかと個人的には思いました。運輸規則21条・24条だけでなく、道路交通法66条や、道路運送法27条第1項との関係とか、結構知らない人が多いので関係法規のお勉強ができるといいなと思いました。それから、運転業務とメンタルヘルス関係のセミナーがあるといいなと思います。SASもうつや注意力低下などの影響を受けますし、長時間の運転や対人サービスのものがもたらす心理的な影響、それに事業者としてどう取り組んでいけばいいのか、ストレスチェックを実施するだけに終わり、結果を活かせていない企業が多い中で、具体策を学んだりする機会があるといいなと思いました。

はじめてのWEB開催でしたが、聞き取りやすかったです。（身内のようなドキドキ感もありましたが・・・）

当社は「年4回の安全運動月間」は以前からありますが、職場の健康への一体感を求めて「健康運動月間」を思案しています。春夏秋冬・この課題・自ら取り組める・健康な方もそうでない方もと思っています。取組テーマに参考にできる課題はありませんか？

健康起因事故防止の基本を勉強できたので良かったです。

アフターコロナを見据えたドライバーの健康管理において、基調講演などすべてが参考になりました。特に高血圧とSASの一元化での予兆についてはとても興味深い内容でした。参加させて頂きましてありがとうございました。

- ・2024年問題における荷主側の取組み状況・好事例
- ・上記における政府の新たな動向など

第1部では様々な視点での貴重なご講演を視聴することができ、大変勉強になりました。特に酒井氏が仰ってました事故に至る背景とプロセスの中の一つ、杜撰な労務・運行・健康管理には改めて管理体制が大切ということを学びました。第2部の堀内運送(株)の三浦様の事例紹介にも親近感が沸き、もっと事例をお聞きしたいと思いました。また、最後の作本副理事長様の御講演にありました”ハイリスク者に対する重症化予防改善プログラム”にはすごく興味を持ってました。今後も楽しみにしています。本日は参加させていただき、ありがとうございました。

健康起因事故防止のためには乗務員の体調変化を常に感じ取り、声掛けをして再検査等があれば速やかに病院に行って調べてもらい。1日でも長く健康で仕事ができるようにお手伝いが出来ればよいと思いました。ハイリスクドライバーは弊社でも多いので今後のプログラムに期待しています。ありがとうございました。

次回も参加したいので、お知らせをお願いします。

年々、高齢ドライバーが増えとても心配です。もっと20代30代のドライバーの獲得をどうしたらいいのか質問です。

無呼吸症候群についてもっと詳しく。

## 第15回OCHISセミナーを終えて

昨年は新型コロナウイルスの影響を受け、毎年11月に開催していたOCHISセミナーも、やむを得ず中止とし、本年の開催についても随分と思案いたしました。しかし、当法人が目指し続けた運輸業界に特化したタイムリーで現場目線の情報が、このタイミングを逃すと陳腐化してしまうのではないかとの焦りもあり、WEBでの開催に踏み切りました。

そしてテーマには、コロナを前面に打ち出し、自身の中でふつつつとイメージし続けている「運輸業界における健康データの一元化」を提案する形で、「アフターコロナ後を見据えたドライバーの健康管理～情報の一元化で事故リスクの予兆発見～」としました。

テーマを願望も含めてあまりにもビックに設定しましたので、セミナーの内容と不一致にならないかと、一抹の不安も感じていましたが、「アフターコロナ・・・」に関しては、インタビュー形式にて会社の取り組みをご提供くださった湖南運輸(株)清水部長、Liveにてリアルなドライバー情報をご紹介くださった堀内運送(株)三浦課長のお陰でクリアすることができました。ひとえに事業者様のお力添えによるものです。

一方、「情報の一元化・・・」につきましては、今後は関係者のご理解やご協力をいただきつつ、当法人が培ってきたノウハウやドライバーのデータを踏まえながら、あくまで現場での活用を目的として構築したいと思っております。

初めてのWeb開催でしたが、Webのメリットは、全国各地から参加を頂けたこと、(本アンケート集計報告書の通り)多くの方から、率直な感想やアドバイス、現場の声をWordにて伝えていただけたことです。セミナーを振り返りながら、おそらくテーマとじっくりと向き合ってくくださったのではと思うと、今までとは違ったコミュニケーションのあり方を感じ取ることができ、多くの時間を頂いた感謝とともに、皆様からの声を決して無駄にすることなく、今後も業界における支援活動に邁進したいと心新たに致しました。

最後に、ご講演いただいた、国土交通省安全政策課 谷合課長、全日本トラック協会交通・環境部 大西部長、大原記念労働科学研究所 酒井先生に心よりお礼申し上げますとともに、今後ともOCHISへの変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

2021年12月

副理事長 作本 貞子